（別添資料１）

事業所名	合同会社　みなみの木	支援プログラム（参考様式）	作成日	R8 年 11 月 1 日

法人（事業所）理念		・複雑化する社会の中で、様々な背景をもったこどもたちと向きあいかかわっていく ・地域社会の将来を担う人材を育てるべく、地域のニーズを満たしつつ、生きる力(life skill)が身につく、発達支援を提供する ・数少ない社会資源としての自覚を持ち、持続可能な障害児支援事業、児童福祉事業を経営する		
支援方針		・こどもだけでなく、家庭・園などこどもを取り巻く状況を総合的に判断しながら、必要な支援を考えて行う ・スキル・知識だけでなく発達段階における「自発性」・「勤勉性」が育っていくように支援を行う		
営業時間		9 時 00 分から 16 時 30 分まで	送迎実施の有無	あり（○）　なし
		支　援　内　容		
本人支援	健康・生活	・就園児に対しては気持ちを表出する機会を確保し、リフレッシュしながら園生活をスムーズにおくれるように支援します ・未就園児に対しては生活リズムや同年代の他児とすごす機会を確保し、小集団から社会へ親しんでいく経験を提供します		
	運動・感覚	粗大・微細運動、道具を使用しての課題などバランスよく運動経験をつみ、ADL、IADLに必要な動作ができるように支援します		
	認知・行動	自身の行動や考え方のクセを少しずつ自覚し、その対処法が身につけられるように寄り添って支援していきます		
	言語 コミュニケーション	本人の気持ちを受け止め、くみ取りながら、発語や語彙が増えるような関わりを持ち、他者と言語や非言語で～ 、発語や語彙がふえるようなかかわりをもちつつ、他者と言語や非言語でコミュニケーションをとる喜びが経験できるよう支援します		
	人間関係 社会性	職員の見守り・仲立ちのもと、さまざまな遊び・活動を通して、他児とのかかわりかたを学べるようにします 外出活動などを通して社会経験やルールを学ぶ経験をふやします。		
家族支援		LINE WORKS等で随時相談対応 数か月に1回程度の保護者会の開催	移行支援	小学校入学時に必要に応じて学校側への情報共有
地域支援・地域連携		園・保健師等の要請に合わせた見学・アドバイス等の実施 利用児以外の相談会実施	職員の質の向上	空き時間でのオンライン講座受講や映像を用いたミーティング等による支援の振り返り
主な行事等		数か月に1回程度の保護者・利用児・きょうだいに向けたイベントの開催		